

7年生、校長室に呼ばれる……

先日、学校帰りにとても勇気ある行動をした7年生がいました。彼らの行動をほめ、感謝の気持ちを表す電話が学校に入ったことで、初めて何があったのかを先生たちは知りました。彼らは校長室に呼ばれ、改めてその行動への称賛と感謝の言葉が伝えられました。

何か、非日常なことや緊急事態に直面したとき、どんな行動がとれるかってとても大切。「どうするのが正解かな……」って、不安で動けなくなっても不思議ではありません。でも、この子たちはきっと、その場に居合わせたみんなでその状況を共有して、「こうしよう！」って判断し、行動に移したのだと思います。とても素晴らしいことです。とても頼りになる子たちです。



さて、今までは家でも学校でも地域でも、手を差し伸べてもらったり助けてもらったりすることの方が多かったと思います。中学校では、学校生活全体を通して、一人の大人として、誰かに手を差し伸べたり助けたりすることのできるココロとチカラを磨いていくための活動があります。道徳もそう、班での学び合いもそう。来年には、救急救命講習の授業もあります。あなたの判断と行動が、誰かの命を救うことがあるかもしれませんから……。



さてさて、中間テストが終わって、1週間がたちました。テスト直しは終わった頃でしょうか。テストに関する5教科の課題の、未提出・再提出があった人は、合格をもらった頃でしょうか。

みんなにとって初めての定期テスト。範囲の配付後、早速「〇〇はテストに出ますか？」とか、「これを予習(復習)したので、授業がむっちゃ分かりました！」とか、「課題を早めにやったので提出していいですか！」とか、「えっ、もう終わったの?!俺も後で出します！」とか、逆に「先生、課題が終わりません!助けてください!」とか(笑)、みんなが、“初テスト”に向けて、てんやわんやしながらも一生懸命に「自分の学び」と向き合う姿があり、先生たちはとてもうれしかったです。中学初めてのテストとしては驚くほど、自分なりに考え工夫して勉強を進めていた様子が分かる子もいて、驚きました!

定期テストは、「今の力」を試す機会です。つまり、まずはその結果を受け止め、「今の自分のできない」を分析し、「今までの学び方の良い点・直した方がいい点」を確認し、これから更に自分を成長させるための「次の行動」を決め、具体的に動き出すためのものです。各教科で、“テストの振り返り”をしているのはそういう理由です。あなたは、もう「次の行動」に移っていますか?

先日の学年集会でも、学年の先生たちが感じた、7年生が頑張っていること、7年生のいいなって思うこと、みんなで大切にしていきたいこと、次の目標はこれだなって思うことを、部活動、生活、学習の3面からお話をしましたね。話している先生の方をしっかりと見て聞いてくれている子がとても多くて安心しました。良いことは続け、改善点は直しながら、これからもみんなと学んでいくぞー!!